昭和53年度 ＪＨＡレフェリーコース（前期）報告

審判委員長　岡前義春

昨年度からスタートした、若い優秀な審判技術をもつレフェリーを養成する目的で実施されたＩＨＡレフェリーコースの53年度（前期）を3月29、30、31日の3日間体協会議室および東京重機体育館で開催した。

このコースの目的を達成するために、充実した研修、充分な指導育成が可能な参加人員は、40名前後と考えていた。幸にして本年度は32名の受講申込みであった。

3日間を通して受講した者は22名、（内訳教員8・会社員5・公務員5・学生4）、受講者22名中連続して受講した者4名、しかも国際審判員を目指している者が含まれていることは、主催する側にとって大変喜ばしいことである。なお受講者の意見を加えると「昨年度このコースを受講する前は、同程度の審判技術であったと思っていた者が、全期間を通して研修を積んだその後のレフェリングは自信に満ち、私達との間に差がついたその姿を見て私達も是非参加して研修し、追いつけ、追い越せと考え受講申込みをした」とのことである。

このコースの目的がB級を取得するためのものではなく、研修を重ね優れた技術を身につけ、レフェリーとして活躍しようとする者のコースである意義が現われたものと思われ、昨年度以上の充実したものとなった。

ＪＨＡレフェリーコース前期日程

第一日（3月29日）日本体協503会議室

○10時受付

○10時30分コースの趣旨説明
受講者自己紹介

○11時30分競技規則の解説
──佐野和夫氏

第二日（3月30日）東京重機工業体育館

○10時～　実技研修

第三日（3月31日）日本体協503会議室

○10時　審判に関する留意事項競技に関する留意事項複審制に関する規範
──藤田八郎氏

○11時45分　レフェリーのゼスチュアー
──大塚文雄氏

○13時　質疑応答
──佐野和夫氏

○13時30分～14時30分
ペーパーテスト

講義要旨

(1) 競技規則の解説──佐野和夫氏
第一条より全文を読み、特に改正点など疑問点をだして解説・講受者と共に全員納得するまで研修する形式で有意義に講義が進められた。

(2) 実技研修
高校男女6チーム男子25分女子20分のハーフのゲームを、受講者がペアを組んで担当して笛を吹き、受講者全員がそれを見学その時の笛について相互に良い点悪い点をだし合い、ルール研究委員を中心にしてデスカッションして研修を重ねた。担当したゲームが終了した者（ペア）は審査員藤田八郎氏の具体的な指導を受け研修した。

(3)
①審判に関する留意事項
②競技に関する留意事項
──藤田八郎氏
スポーツの理念と競技の進行競技中における留意点など具体的な例をあげて解説された
③複審制に関する規範
2名のレフェリーの任務と分担、基本的なルールの判定の仕方などを中心に進められた

以上で53年度の前期ＪＨＡレフェリーコースについての日程、ならびに講義要旨について報告しましたが、受講者の方々にはＪＨＡレフェリーコース審判手帳が与えられ、後期の受講までに最低5試合以上の実技を経験しておくことが義務付けられています。

また各都道府県の審判委員長は受講者に対して機会を与えて、その実技における批評、指導等をお願いします。

なお、後期のコース日程としましては8下旬に予定されております。

52・53年度連続受講者

清水　宣雄（福　島）
寺田　正男（福　島）
高村　好昭（神奈川）
得丸　光（千　葉）

「ハンドボール」
53年5月号（第163号）目次

【表紙写真】ヨーロッパリーグでの一コマ（スラビア・プラハ──ハンツル・イルジー選手の豪快なシュート）

モスクワオリンピック選手強化対策の具体化

——強化委員長　渡　辺　慶　寿——

一九七一年西独グンメルスバッハチームが来日した時、チームの会長グロヌデ氏は、日本チームをみて、ミュンヘン大会での日本の順位は、10位までには入らないであろうと予言した。

その結果は予想通り11位であった。この言葉の意味することは、「日本はスピードはあるがスタミナと力強さがない。」ことであり、日本のハンドボールチームに必要な条件として「スタミナとパワーそしてスピード」だとも述べている。その後のモントリオールオリンピックにおいても同じような結果が指摘された。又ゲーム分析の結果失点が多い。この改善を急がなければならないことも過去強化の反省として常にいわれていることである。以上の事柄より、昭和52年よりもモスクワへの道の具体的強化の方針と日程を確認し強化につとめたい。

一、モスクワに向けての強化の方針

○日本のために戦う選手
○スタミナ、パワー、スピードの強化
○ディフェンスの強化
○ゲームの中で自分の意思でボールを扱え、基本に忠実で、その上にたった、個性もある選手の育成
○チームの若返り、活気ある争いで勝抜いた選手を最終メンバーとする。
○選手の発掘を常に行う。
○世界大会予選リーグ二位の獲保（女子）

二、年次別強化目標

昭和52年
1 若手選手の育成
2 基礎的、体力、技術の獲得
イ、スタミナ、スピード、パワー
ロ、防御フットワーク、基本的、DF技術
3 スピードある攻撃、スピードある防御

53年
1 世界大会を経験しての体力、技術の欠点の矯正
2 世界大会を経験してのチームの矯正
3 育力面をカバーするための技術の開発

54年
1 攻撃的、防御術の獲保
2 攻撃面でのトリックプレーの収得
3 世界に通用する戦術の固定化

55年
1 スタミナ、スピードパワーを基本とした、技術の収得
2 国内に通用する技術ではなく、世界に通用する技

イ 男子

年度	月	種目	役員数	選手数	帯同数
S52	4月	ナショナルチームの結成			
	10月	世界アジア予選メンバー発表	フルエントリー		
	12月	世界大会メンバー発表	フルエントリー		
S53	4月	ナショナルメンバー確認			
	9月	同上			
S54	2月	ヨーロッパ合宿メンバー発表	2	16	
	?月	オリンピックアジア予選メンバー発表	フルエントリー		
	6月	プレオリンピックメンバー発表(招待未定)	フルエントリー		
S55	5月	オリンピックメンバー発表	未定		

ロ 女子

年度	月	種目	役員数	選手数	帯同数
S52	4月	ナショナルチーム結成			
	10月	ナショナルメンバー確認			
S53	3月	世界大会アジア予選メンバー発表	フルエントリー		
	4月	ナショナルチームメンバー確認			
	9月	世界大会メンバー発表	フルエントリー		
S54	4月	ナショナルメンバー確認			
	?月	オリンピックアジア予選メンバー発表	フルエントリー		
S55	3月	ヨーロッパ合宿メンバー発表	2	16	
	?月	オリンピック三大陸予選メンバー発表	未定		
	5月	オリンピックメンバー発表	未定		

術の固定化

三、目標達成のために

1 ナショナルチームの選手の入替

2 男子強化合宿

昭和53年度

第1次 5月22日〜5月28日東京
第2次 8月2日〜8月11日三重
第3次 1月25日〜1月31日兵庫
第4次 3月1日〜3月7日東京

ヤングナショナル

1 1月20〜1月25日 勝田

昭和54年度

第1次 5月21日〜5月27日
第2次 7月22日〜7月31日
第3次 8月26日〜9月1日
第4次 10月29日〜11月6日
第5次 1月27日〜2月8日

ヤングナショナル

1 6月14日〜6月21日
2 10月29日〜11月6日
3 2月12日〜2月19日

昭和55年度

第1次 5月10日〜5月16日
第2次 6月5日〜6月14日
第3次 7月10日〜7月18日

ヤングナショナル

1 6月23日〜6月30日

3 女子強化合宿

昭和53年度

第1次 4月15日〜4月22日 日本ビクター
第2次 5月8日〜5月13日 日立栃木
第3次 5月22日〜5月27日 北国銀行
第4次 8月4日〜8月12日福島
第5次 8月25日〜9月1日 場所未定
第6次 20月2日〜10月7日
第7次 11月13日〜11月19日

ヤングナショナル

1 5月21日〜5月28日

昭和54年度

第1次 4月29日〜5月4日
第2次 5月29日〜6月7日
第3次 7月24日〜7月31日
第4次 10月28日〜11月8日
第5次 1月24日〜1月31日
第6次 2月12日〜2月20日

昭和55年度

第1次 4月19日〜4月28日
第2次 5月22日〜5月31日
第3次 6月18日〜6月27日
第4次 7月10日〜7月18日

4 男子ナショナル国際交流予定

① 53年1月8日〜1月12日
第3回国際大会（スペイン）
② 53年1月13日〜1月25日
親善試合（スペイン、フィンランド）
③ 53年1月26日
第9回男子世界選手権大会
④ 53年5月25日
スラビアプラハIPS来日、対戦（東京駒沢）
⑤ 53年8月27日〜9月2日（栃木）
⑥ 53年9月
ソ連、東独招待、日体協を通じて申請中
⑦ 54年3月11日〜4月10日
強化遠征及びヨーロッパカップ見学（東、西ドイツ、ハンガリー）
⑧ 54年7月14日〜7月29日
プレオリンピック(モスクワ)
⑨ 55年
ルーマニア、チェコ、東ドイツ、西ドイツ遠征

女子ナショナル国際交流予定

① 53年3月30日
西ドイツ、VFRマンハイム来日、対戦（浜松）
② 53年6月（未定）
アジア予選（ソウル）
③ 53年9月
ソ連、東独招待 日体協を通じ申請中
④ 53年11月24日〜7月29日
第7回女子世界選手権（チェコ）
⑤ 54年7月14日〜7月29日
プレオリンピック(モスクワ)
⑥ 55年
ルーマニア、チエコ、東ドイツ、西ドイツ遠征

5 強化委員会の連繫

㋑ 各強化部長の客観的チーム指導と把握
㋺ 各監督の選手達の日常管理
㋩ トレーニングドクターの助言指導
㋥ 総務コーチの円滑な仕事
㋭ 各強化委員の積極的選手発掘と各連盟選手強化
㋬ 具体的な強化委員会の組織と活動

6 目的達成、獲得のための指導者導入

㋑ スタミナ、スピード作りのための指導者（陸上競技）
㋺ 合理的身体動作鍛錬のための指導者（空手、合気道）
㋩ 足さばきを重ずる競技の指導者（ボクシング等）
㋥ 回転をともなう身体動作のための指導者（体操等）
㋭ Deffence 強化のための指導者
㋬ Offence 強化のための指導者
㋣ G、K、のための指導者
㋠ 体力トレーニングのための指導者

7 国際交流

国際経験を積むことは、強化において大切なことである。それには、海外遠征が最適であるが経費の面で困難である。従って、国内でヨーロッパ選手と合同強化合宿することも考える。

㋑ スエーデンHFオリンピック（男子チーム）
昭和53年 8月2日〜11日来日希望
問題点
a 費用の算出 b 滞在日程の延長
㋺ 女子についても考える、現在のところ未定。
㋩ 招待国際試合
ソ連、東独、その他

8 選手に対しての要望

(1) チームにとけ合う、監督の命は絶対。
(2) 自己のプレーの見なおし、新しい自己の発見、将来の目標の獲保。
(3) 人のものを盗め、それを消化し、ハンドボール技術の栄養とせよ。
(4) ハンドボールが命である。生活はハンドボールを中心に考えよ。
(5) 世界は広い、「うぬぼれるな」「せくな」「なげくな」常に練磨があって勝利がある自分の喜びは日本の喜びだ。

四、ヤングナショナルの強化

1 選手メンバーのための資料作成完了する。
2 ヤング合宿（日程参照）年度を追って頻度を高める。
3 モスクワ後の強化についての円滑化
4 底辺の強化
5 指導者の育成（海外派遣）

五、国際交流

国際的経験を積むことは強化を一層高めることになる。また強化には、普及による底辺拡大が必要であり、国内での国際試合をも含めて考えなければならない。

1 国内での国際試合の条件

㋑ 人気国で日本と同等あるいは弱い国。（アメリカ、フランス）

㋺ 人気国で日本より強い国（ソ連、東独）

2 海外遠征の条件

㋑ 転戦と合宿 ＼ヨーロッパ
㋺ 転戦のみ ／

六、資金

強化の費用は十分でない。強いチームをつくる為には金がかかる国内強化費一つをみても今後問題が起きよう。役員、選手の金銭的負担は大きい。ナショナル選手をかかえているチームの負担もみのがせない。現在のところその協力は、十分すぎるほどである。解決をお願いしたい。

「強化委員会の組織と活動」

強化活動の円滑化と効果を高めるために下記の小委員会を設ける

一、選手強化、チーム指導について―強化指導小委員会(仮称)―

(1) 動機と目的

監督及びコーチに全くの一任の形で、周知を集めていない。もっと、強化委員長、強化部長、ドクター群、さらに国内有識者などの周知を集めて、選手強化を実行する必要がある。従って全日本チーム（男、女）がとるべき方向を具体的に明確化し、監督、コーチに指示実行させる。

(2) 構成

強化委員長、男子強化部長女子強化部長、女子強化部長トレーニングドクター、男子監督、女子監督、有識者（各分野の権威者、国際試合経験者など）若干名

(3) 小委員長…………
委員…………

二、選手発掘について
――選手発掘小委員会――

(1) 動機と目的

組織だった選手発掘が不十分なため、ハンドボール選手に関するあらゆる面密な情報収集、他競技の選手に関する情報が必要であり、さらには他競技選手をハンドボールへの転向勧誘も行なう必要がある。

(2) 構成

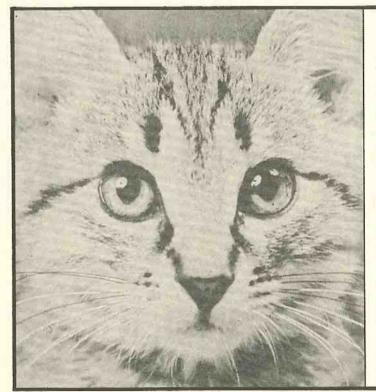
男、女別の小委員会とし、ハンドボール各種別、他競技および各地域に通じている委員

若干名

(3) 男子委員
女子委員

三、資金確保について
――財政小委員会――

(1) 目的：略

(2) 構成：委員　若干名

スラビア・プラハ（チェコ）来日

東欧から初の単独チーム

全日本など6戦

日本協会は、東欧圏から初の単独チームとしてチェコ男子の名門「スラビア・プラハ・IPS」（フプティフ団長ら役員6、選手16）を招き、5月14日から25日まで6試合の国際親善試合を行うと発表した。

迎える日本勢は、湧永薬品（広島）、大同特殊鋼（愛知）の国内を代表する両強豪のほか、京都、岡山の地元ピックアップチーム。それに終盤は、東京駒沢体育館で、若手主体の全日本B及び全日本が手合わせする。

全日本男子の国内における国際親善試合登場は、一昨年春のドロット・ハルムスタッド（スウェーデン、横浜文化体育館）戦以来。来日チームの実力が高いだけに各試合とも好内容の激戦が期待できそうだ。

プラハチームは、5月12日ナホトカから航路で、横浜港に着く予定。

ミケシュら好選手揃う

スラビア・プラハIPSは、一八九三年にチェコ国内で創立された一番古いスポーツクラブ（IPS）で、ハンドボール部は一九一九年に創立、現在、八才〜一部リーグ加入選手まで、三百名十四チームが編成されている。女子のヨーロッパカップ二位、男子の世界選手権優勝など、過去に於いても輝かしい歴史を持つ。

来日メンバーは、12チームによるチェコ全国リーグで、つねにベストスリーに数えられる強豪、今シーズンも4月20日現在、18戦10勝2分6敗で優勝圏内にある。

ほとんどの選手が、ナショナルプレイヤーとして、公式国際試合の経験をもつというが、なかでもミュンヘン、モントリオール両オリンピック代表のミケシュ（マイクス）と、モントリオール代表のハンツルは、チェコの看板プレイヤーでもある。

両選手とも、今春の世界選手権には、大幅な若返り策のためか選ばれていないが、昨年のBグループ戦には出場、活躍している。

クラトフビール、ストラカは世界選手権に初参加した売り出し中の若手、クラトフビールは196cmの豪快な攻撃力を誇り、チェコ期待の星だ。

GKバルダも、公式国際試合のキャリアこそ5回だが、昨年の世界学生選手権ではレギュラーとしてゴールを守っており、将来をしょく望されている。

単独クラブとしては、7年前来日した当時の欧州チャンピオン・VfL・グンメルスバッハ（西ドイツ）以来の強豪といえる。

闘志燃やす湧永、大同

日本側は、すでに国際級と折り紙つきの湧永、大同の闘志がみもの。

両チームとも、来日する外国チーム（単独）総なめを豪語しており、プラハは、相手にとって不足はない。

大同は、藤中が内臓を悪くし出られそうになく、新人もいないが蒲生、花輪、中井らで手駒の不足は感じさせない。

湧永は、昨年、日本リーグ優勝のメンバーに、池ノ上（日体大）、生駒（京都産大）と、東西学生界のエースを加え、いっそうスケールを大きくしている。不安はGK福井の目の負傷が長びいていること。

久々に全日本も対戦

国内で久々に外国チームと対戦するナショナルチームは、まず23日に、初の試みとして、若手主体の「Bチーム」が登場する。

予定メンバーは、GKが須波（筑波大）、井藤（日体大）の両現役学生、FPが蒲生、柳川、中本（いずれも大同特殊鋼）、池ノ上、生駒（いずれも湧永薬品）、志賀（大阪体大）のほか、GKで選考されている斉藤将（秋田教員）がFPとして参加する。

斉藤将は、日体大時代から大型GKで定評があったが、ナショナルチームのコーチングスタッフは二年ほど前から、その長身を活かした守りにおける動きのよさに着目、ディフェンスプレイヤーへの〃転向〃をすすめていた。

今回の起用は、そのテストケースといえるものだ。

25日には、ナショナルチームが

（7頁へつづく）

日程

▽第1戦・5月14日(日)15時30分
　対大同特殊鋼（愛知県体育館）
◁第2戦・5月16日(火)18時30分
　対湧永薬品（広島県立体育館）
▽第3戦・5月18日(木)18時
　対京都選抜（京都府立体育館）
▽第4戦・5月21日(日)14時
　対全岡山（岡山県営体育館）
▽第5戦・5月23日(火)19時
　対全日本若手(東京駒沢体育館)
▽第6戦・5月25日(木)18時
　対全日本（駒沢体育館）

スラビア・プラハIPS来日メンバー

団長　ミルコ・フプテイフ
監督　イルジ・テサリーク
役員　ヤン・ムシル
役員　ラジスラフ・ジエドウレク
役員　ウラジミール・ブラシカ
役員　ヨゼフ・マツエラ

▽GK
○ミハル・バルダ（22才191cm学生）
ペトル・コルゲル（22　185　学生）
ヤン・ガリボダ（22　191　学生）

▽FP
ペトル・ピーナ（31　183　建築業）
ボブミル・フネブコフスキー（31　182　大学講師）
△師フランチシェク・クラトフビール（25　196　学生）
△カレル・ストラカ（29　187　技師）
□○イルジー・ハンツル（26　192　学生）
ラジスラフ・チュンプル（30　170　修理技師）
ヤロスラフ・リバーンスキー（27　183　電話局員）
◎◉パベル・ミケシュ（27　186　電気工）
イルジ・テサリークJR（20　184　学生）
ヤン・ロゼンフェルドル（34　187　大学講師）
オタカル・ペク（19　187　学生）
ボイチェフ・ストルツ（18　190　学生）

・◎印　ミュンヘン・モントリオールオリンピック代表
・□印　モントリオールオリンピック代表
・△印　今春2月の世界選手権代表
・○印　昨春3月の世界選手権Bグループ代表

Create Your New World with ACCORD

ACCORDとは「調和」「一致」です。
機能重視、人間尊重、そして環境保持。
こうしたテーマを高い次元で調和させました。
多用途・多目的に余裕をもって活用できる機能と
乗る人の心情に深くマッチした
快適さの実現です。
大人の感覚で磨きあげた車。
あなた自身の新しい世界を創造する車。
それがホンダ・アコードです。

ゆとりと調和のアダルト・カー

ACCORD®
CVCC

型式B-SJ・全長4.125m(EX・LX・GL)・全幅1.620m・全高1.340m・軸距2.380m・輪距　前1.400m後1.390m・CVCC水冷4サイクル直列4気筒OHC・総排気量1,599cc・最高出力80ps/5,300rpm・最大トルク12.3kg-m/3,000rpm・燃費21km/ℓ(5速ミッション車60km/h定地走行テスト値)・10モード燃費10.5km/ℓ(運輸省審査値)・四輪ストラット方式独立懸架●51年排出ガス規制適合車。

本田技研工業(株)鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎<0593>78-1212 〒513

東京では、49年9月のドイツ戦以来という国際試合をみせる。

2月の世界選手権で、東欧勢をあと一歩まで追いこんだ実力は、ヨーロッパの専門家筋も高く評価している、という。

それだけに、プラハ側は、この一戦に、総力をかけてきそうだ。

世界選手権で、日本はチェコナショナルと25―25の引き分けだったが、この時、チェコにはミケシュ、ハンツル、クラトフピール、GKバルダらが居ない。

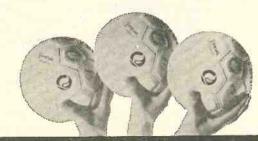
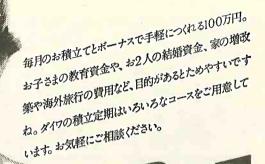
展開力では、ナショナルに優るとも劣らぬといわれるスラビア・プラハだけに、全日本も負けないまでも、軽視すると食いつかれそうだ。

【下段写真説明】

（後列右から）ヤン・ロゼンフェドル、ミルコ・フプティクIPS会長、ペトル・ピーナ主将、オタカル・ペク、カレル・ストラカパベル・ミケシュ、フランチシェク・クラトフビール、イルジー・ハンツル、ウラジミール・ブラシカ、イルジー・テサリーク監督、ヤン・ムシル

（前列右から）ヤン・ガリボダミハル・バルダ（共にGK）、イルジク・テサリークJR、ヤロスラフ・リバーンスキー、ヤン・ロゼンフェルド、ラジスラフ・チュンプル

あなたと明日を

毎月のお積立てとボーナスで手軽につくれる100万円。
お子さまの教育資金や、お2人の結婚資金、家の増改
築や海外旅行の費用など、目的があるとためやすいです
ね。ダイワの積立定期はいろいろなコースをご用意して
います。お気軽にご相談ください。
まず100万円
100万円をひとつの目安に、スタートなさいませんか。
ユメを育てる
私の貯金箱
ダイワ積立定期
預金も信託も…
大和銀行

世界女子アジア予選代表決まる

日本協会は、4月22日東京での常務理事会で、強化委提出の53年度男女ナショナルチーム名簿を承認するとともに、6月3日から韓国で行われる第8回世界女子選手権アジア地域予選出場メンバー（横地宇吉団長ら役員4、選手14）を決めた。

男女両チームとも、すでに全国代議員会（3月19日）、同理事会（2月4日）で承認を受けていたものだが、そのあと、男子ナショナルチームから男子に生駒靖夫（FP、京都産大―湧永薬品）の復帰が希望された。同選手は、52年6月ナショナル入りしたが、昨秋所属校の事情でいったん辞退していた。

また、国際的アタッカーとして名をはせていた佐藤要二選手（FP、本田技研鈴鹿）から、今春2月の世界選手権（デンマーク）終了後、「体力的限界」を理由に、辞退届が提出されていることが明らかにされた。

この日の会議では報告だけで終ったが、強化委、男子コーチングスタッフとも、受理する模様だ。

モントリオール組が主力

世界女子選手権アジア予選代表メンバーは、アジア予選―今秋の本大会はもちろんのこと、モスクワ・オリンピックにつながる最初の一歩とあって注目されていたがモントリオールオリンピック経験の6人を柱に、新鋭8人を加えての編成となり、GK陣は〃新人トリオ〃になった。

鈴木義男監督らコーチングスタッフは、外敵よりも、オリンピック組と若手組との〃差〃を埋めることが急務という大きなテーマを背負っており、強化合宿の主眼も若手の強化におかれている。

当面のアジア予選は、オリンピック組主体で乗り切るとしており日本協会・荒川清美理事長も「ベテラン6人の実力を信じている。秋までに新人の力が、予想どおりに伸びれば、今秋の世界選手権はともかく、二年後のモスクワは、大きな望みがかけられる」としている。

それだけに、来月のアジア予選は、新生・全日本女子の今後を占うには、これまでの予選会とはちがった意味がある。

大器といわれた島田（日立栃木）は、盲腸炎手術後、心身の疲れから、ホームチームには復帰したものの全日本は〃休部〃状態となっており、コーチングスタッフは、リストからはずすことになった。

藤井（日体OG）は、学生界出身の全日本FPとして、史上初の海外遠征メンバー。（注、GKはかつて山田（日体大レナウン）がいる。）

なお、アジア予選については、本誌締切り（4月24日）までに、6月3日から9日まで、ソウル、大田（テチョン）の両市に、日本、韓国、台湾が参加して行われる、という以外に、詳しい発表はIHF（国際ハンドボール連盟）、韓国協会ともしていない。

参加国が、この三カ国以外にあるのではないか、という観測も日本協会内には残されている。

代表チームは、5月に三回（53年度第2～4次）の強化合宿を行ったのち、6月1日大阪から空路出発の予定。

53年度女子ナショナルチーム

	氏名	年齢	所属	身長
GK	◎鈴木はる子	24才	日本ビクター	170cm
	◎山本　福代	22	ブラザー工業	164
	◎丸山加代子	20	立石電機	166
FP	◎□加藤美紀子	22	日本ビクター	165
	◎□穂積美保子	21	日本ビクター	168
	◎斉藤ゆき子	21	日本ビクター	156
	◎小島　和子	21	日本ビクター	164
	◎□松下　仁美	22	ジャスコ	163
	◎□河田　栄子	21	ジャスコ	167
	◎□小森久里子	22	ブラザー工業	166
	楠石かずみ	20	ブラザー工業	172
	木石ひとみ	19	北国銀行	173
	千歩　康子	19	北国銀行	171
	◎□紀野奈々美	21	立石電機	166
	◎藤井日出子	21	日体大OG	164
	◎清水みよ子	20	東北ムネカタ	164
	◎横山祐美子	20	東京重機	159

・◎印世界選手権アジア予選代表
・□印モントリオールオリンピック出場者

53年度男子ナショナルチーム

	氏名	年齢	所属	身長
GK	福井　秀人	25才	湧永薬品	180cm
	柴田　正章	24	本田技研鈴鹿	187
	斉藤将一郎	23	秋田教員ク	187
	須波　雅人	21	筑波大	184
	井藤　英忠	20	日体大	184
FP	中井　武三	28	大同特殊鋼	181
	花輪　博	27	大同特殊鋼	177
	柳川　実	24	大同特殊鋼	176
	蒲生　晴明	23	大同特殊鋼	192
	中本　満明	23	大同特殊鋼	184
	津川　昭	26	湧永薬品	180
	穂積　豊彦	25	湧永薬品	180
	池ノ上孝司	21	湧永薬品	185
	生駒　靖夫	21	湧永薬品	184
	佐藤　要二	28	本田技研鈴鹿	181
	斉藤　幸司	23	大崎電気	175
	志賀　良弘	21	大阪体大	188

木野氏にコーチ要請

日本協会は、4月22日の常務理事会で、男子ナショナルチームのコーチングスタッフに、元全日本選手・木野実氏（湧永薬品、立大出）を加えたいとする強化委の申し出を了承した。

同氏が、湧永薬品の現役選手のことから、とりあえず、5月23日東京駒沢で行われるスラビア・プラハ（チェコ）―全日本B戦に本田洋コーチとともにベンチ入りしてもらい、本格的なコーチングスタッフへの参加は、今後の交渉を待ってのこととなりそうだ。

▼木野氏がコーチングスタッフに加わることはハンドボールファン待望のことでもある。○ハンドボールファンの誰もが今か今かと期待していた人である。○立大黄金時代の中にあって、その素晴しいプレーイングは、かつての竹野氏（大崎現役時代）がそうであったように老若男女を問わず、ハンドボール愛好家達の間で文字通りのオールラウンドプレーヤーとして認められる秀逸的人物である。○何んとかこのファン期待にも答えて頂きたい…と願うものである。

（本紙編集者の声）

プレス・ルーム ＜9＞

小山　敏昭
———共同通信社運動部—

他競技から見たハンドボールリーグ

現在『日本リーグ』と名のつく形式のリーグ戦を行っている競技団体はサッカー、バレーボール、バスケットボールなど八団体ある。ハンドボールでも二年前に発足し徐々に盛大になってきている。だが、同じ『日本リーグ』といってもさまざまで、今年十四年目を迎えるサッカーや十一年目のバレーボールなどから、発足間もないソフトボール、卓球までバラバラ。またサッカーのように毎年年鑑を発行して、記録を集計しているところもあれば、二、三枚の簡単な記録報告書だけで済ましているところもある。

ところで別表をご覧いただきたい。日本リーグに参加している各協会、(運営委員会)やチームがどのくらい金銭的な負担をしているかを知らべてみたものだ。

	サッカー	バレーボール	バスケットボール	ハンドボール
チーム登録料	1チーム 10万円	登録料 1,000円 参加料 10万円	実業団連盟登録料 10万円以下	リーグ登録分担金 45万円
協会(運営委)負担分	旅費宿泊費 19人分負担 〈旅費〉 新幹線特急 飛行機 〈宿泊〉 1泊 4,500円	旅費宿泊費 15人分負担 〈旅費〉 新幹線特急 飛行機 〈宿泊〉 1泊 6,000円	開催地協会が一部負担 平均30万円ぐらい	な　し
チーム負担分	20人以上の旅費 宿泊費	16人以上の旅費 宿泊費	遠征費（旅費宿泊費）金額負担	遠征費（旅費宿泊費）全額負担
リーグ運営費	加盟料（登録料）と入場料でまかなう	参加料と入場料でまかなう	チームで負担	チームで負担

サッカーやバレーボールのようなところではリーグへの登録料（参加料）は十万円だけで、遠征にかかる旅費、宿泊費は規定の人数までは協会（運営委）が負担している。またバスケットボールでは開催地の協会が各チームに平均三十万円の援助金を出している。

ところがハンドボールの場合はリーグ登録料は四十五万円と多く反対に協会の援助もなければ補助も出ない。遠征にかかる費用は全てリーグ参加チームが支払うことになっている。

さらにリーグの運営もサッカーバレーボールが登録料（加盟料）と入場料でまかなっているが、ハンドボールでは全て〝手弁当〟で全部チームが負担している。

こうして見るとハンドボールの日本リーグ勢がいかに財政的に苦しいかが一目でわかると思う。それでも参加各チームは年間で、一千万円近い維持運営費をねん出して、必死にがんばっているのだ。その熱意にはただただ頭が下がるばかりだ。

早ければ日本協会は昭和五十四年度に法人化されると聞く。だが法人化されたからといって財政的に恵まれるものでもない。財政問題は協会の予算規模や競技の人気の度合いなど複雑な要素が多いからだ。

しかしハンドボール界のトップレベルにある『日本リーグ』を盛り立てていくことは、日本のハンドボール界全体の発展に繋がっていることは明白だ。そのためにわれわれが出来ることはハンドボールの日本リーグの記事を多く書いて、競技全体の人気を高めていくことだろう。

サッカーやバレーボールでもまだまだ十分な内容とはいえないがハンドボールも早くサッカー、バレーボール並みの『日本リーグ』になるよう願うものである。

ハンドボール後援会発足！

お金の話を書いたのでもうひとつお金のこと。ハンドボールでも後援会組織を作ろうという動きがある。資金難にあえぐ日本協会としては資金調達の意味からも大賛成である。どういう形のどういうものを作ろうとしているのかわからないが、現在後援会の出来ているサッカー、の例を紹介しよう。

サッカーでは組織の出来たのが二年前で、年間（一月一日—十二月三十一日まで）法人は五万円、個人は一万円の会費を納めれば誰でも後援会員（会長は山本三井造船社長）になれる。後援会員になれば日本国内での日本協会開催の試合は国際試合も含めて全て観戦できることになっている。日本リーグが単純に計算すれば18試合、天皇杯が5試合、その他国際試合（全日本クラス）が年平均5試合ぐらいあるので、合計約28試合。一試合の平均入場料が八百円だから、個人会員になれば半分の費用で足りる計算だ。ことしは法人が九十社百二十口、個人が約一千人が登録、日本協会には約千六百万円の資金が集まったわけだ。

ただ後援会を作ったからには協会としては多大な責任があるわけで、サッカー協会の事務局では『全日本の強化だけでなく、普及の面にも振りわけられる。サッカーフェスティバルなどにも使うし、バランスを考えてやらねばならないので大変です』と話している。

そこで、それでは事ハンドボールに関してはどのような組織になるのか、今から考えると非常に楽しみに思えるが、それによって組織に集められた価値ある資金がなによりも日本ハンドボール界の発展に結びつかなければ、組織を作る意はないことだけは決っして忘れてなるまい。

現在において可成りの盛況を見せて来つつあるハンドボールであるが、これから先更に一歩前進して考えて行く事が望まれる。

52年度春の高校選抜大会結果報告

（3月26日〜28日・愛知県体育館）

男子・岩国工業、女子涌谷に初の栄冠!!

全日本実業団大会に続き、男女20チームの若き精鋭を迎え、三月二十六日から三日間愛知県体育館において初の高校選抜（昭和五十二年度）大会が開催された。

二十四日まで実業団大会が行なわれていたが、早くに名古屋の地に訪れた各参加チームは、その実業団での好プレーに刺激されてか最初から白熱したゲーム内容が見られ、関係者にしてもまずまずの大会であった。

結果は、男子は岩国工業、女子は涌谷がそれぞれ初優勝し、初の大会の幕を飾った。

男子第一日目

▽一回戦

富岡高（関東・群馬）15（6－2　9－2）4 新居浜工高（四国・愛媛）

氷見高（北信越・富山）19（6－5　13－5）10 函館有斗高（北海道）

▽二回戦

桜台高（愛知）11（7－2　4－5）7 学法石川高（東北・福島）

岩国工高（中国・山口）13（5－6　8－6）12 県岐阜商高（東海・岐阜）

富岡高 14（5－7　9－3）10 此花学院高（近畿・大阪）

久留米工大付高（福岡）12（7－7　5－2）9 氷見高

男子第二日目

▽準決勝

岩国高校 12（7－3　5－5）8 久留米工大付高

【久工】		得
GK	小野	0
GK	花田	0
FP	小川	0
FP	藤野	1
FP	清水	1
FP	若杉	3
FP	江崎	0
FP	柏原	0
FP	長野	2
FP	中川	0
FP	石原	0
FP	広瀬	1
		8

【岩国】		得
GK	増口	0
GK	市山	0
FP	林	0
FP	善岡	4
FP	下戸成	3
FP	川岡	3
FP	横道	2
FP	末岡	0
FP	高木	0
FP	難波	0
FP	沖	0
FP	中村	0
		12

（審・荒川・大矢）

（PT）【岩】善岡（1）川岡（1）【久】長野（2）

前半岩国は三番善岡、四番下戸成によくボールを回し着実に得点する。一方久留米は長身を生かした攻撃も岩国に固いディフェンスにはばまれ、三点に終わる。

後半に入って久留米もようやく本来の調子を取り戻し、若杉、清水、長野のPT得点に依り試合を盛り上げシーソーゲームとなるが15分以降加点ができず前半の差そのままで、岩国が久留米を振り切った。

富岡高 9（5－3　4－1）4 桜台高

【桜台】		得
GK	中村	0
GK	金田	0
FP	西山	0
FP	森部	1
FP	小幡	0
FP	福井	2
FP	玉腰	0
FP	百合川	0
FP	蟹江	1
FP	小山	0
FP	榊原	0
FP	山本	0
		4

【富岡】		得
GK	岩井	0
GK	宮口	0
FP	山田	2
FP	諏訪	2
FP	寺山	0
FP	富沢	0
FP	大竹	0
FP	永井（雅）	5
FP	斉藤	0
FP	今井	0
FP	井上	0
FP	永井（邦）	0
		9

（審・都梅・小松）

（PT）【富】山田（1）

桜台は五番福井のミドルシュートで先行したが、15分富岡永井のロングで2－2としてからは桜台の攻めに積極性が欠けた。働きかけるプレーが無いためパスミスから富岡永井によるワンマン速攻により3－2としてからは富岡ペースで展開、5－3の富岡リードで前半を終了。

後半に入ってはから双方共に10分間ノーゴール、11分に富岡は45度サイドコンビのスカイプレーで加点7－3とし、その後も終始富岡のペースで試合が進み桜台は後半に蟹江の得点でわずかに1点を返すにとどまった。

男子最終日

▽決勝

岩国工高 9（2－2　7－6）8 富岡高

【富岡】		得
GK	岩井	0
GK	宮口	0
FP	山田	1
FP	諏訪	1
FP	寺山	4
FP	富沢	0
FP	大竹	0
FP	永井（雅）	2
FP	斉藤	0
FP	今井	0
FP	井上	0
FP	永井（邦）	0
		8

【岩国】		得
GK	増口	0
GK	市山	0
FP	林	0
FP	善岡	5
FP	下戸成	4
FP	川岡	0
FP	横道	0
FP	末岡	0
FP	高木	0
FP	難波	0
FP	沖	0
FP	中村	0
		9

（審・川島・森）

（PT）【岩】善岡（2）【富】寺山（3）

開始早々両チーム共に若干固さが目立ち動きが少なかったが、1分過ぎに富岡寺山がPTで得点、これで緊張がほぐれたかに見えたがその後15分近くまで双方得点無く、富岡二番山田が得点し2－0とした後、岩国は四番下戸成のロング、善岡のPTによる得点で2－2とし残り10分余りはまたしても相方に得点無く同点のまま終了

後半、前半の反省からか両チーム共にリズムに乗り、動きも激しく一進一退の攻防が続いた。その中で岩国三番の善岡がよく活躍し

結局9—8の1点差で岩国が初の高校選抜をものにした。
　優勝戦にふさわしい1点を争う好ゲームではあったが、今一つ高校生らしい若さとスピードが欲しかった。

女子第一日目

▽一回戦

名古屋短大付高（愛知）11（4—5 7—3）8 栃木女子高（関東・栃木）

熊本女子商高（九州・熊本）14（7—3 7—4）7 静岡城北高（東海・静岡）

▽二回戦

徳山高（中国・山口）14（6—5 8—0）5 函館商高（北海道）

新居浜市商（中国・山口）16（5—3 11—4）7 城南学園高（近畿・大阪）

涌谷高（東北・宮城）9（3—5 9—2）7 名古屋短大付高

熊本女子商高 8（4—2 4—3）5 小松市立女子高（北信越・石川）

女子第二日目

▽準決勝

涌谷高 9（3—2 6—3）5 徳山高

　前半両チーム共に、パス・キャッチ、オーバーステップなどのミスで得点できず。5分過ぎに徳山原田が45度よりカットインで得点

得	【徳山】		【涌谷】	得
0	逆瀬川	GK	菅原	0
0	小山	GK	佐藤(星)	0
0	多田	FP	伊藤	0
0	吉岡	FP	相沢	3
1	原田	FP	酒井	5
0	佐藤	FP	斉藤	0
3	山口	FP	今野	0
0	徳原	FP	土生木	1
0	田中	FP	末永	0
1	松田	FP	及川	0
0	原	FP	佐藤(純)	0
0	岡村	FP	田生	0
5				9

（審・角 岩永）

〔PT〕【涌】山口（1）【徳】相沢（2）

　その後涌谷も13分に相沢のPTで同点とし、リズムに乗った涌谷は15分にも酒井が得点2—1としたが、徳山も六番山口の速攻から再び同点と好ゲームを展開、3—2と涌谷1点リードのまま後半に移る。
　後半に入るも双方一進一退の攻防を繰り広げ、10分過ぎ徳山に一人退場者が出たところから一気に涌谷のペースとなり、四番酒井が4連続得点を上げる大活躍を見せ追いすがる徳山を振り切った。

熊本女子商高 15（8—4 7—5）9 新居浜市立商高

得	【新居】		【熊本】	得
0	今村	GK	茂利	0
		GK	荒木	0
0	藤原	FP	岡本	5
3	鈴木	FP	緒方	1
0	堀口	FP	松田	4
2	浦川	FP	野田	1
0	深川	FP	桑原	1
2	永島	FP	田守	3
1	山口	FP	鉄島	0
1	吉川	FP	橋本	0
0	高橋	FP	河田	0
0	大西	FP	関	0
9				15

（審・川島 森）

〔PT〕【熊】松田（1）

　前半立ち上がり、新居浜六番永島がスピード豊かなシュートから1点を先取。しかしその後は熊本の高いディフェンスにはばまれ、ペースを崩してしまった新居浜に対し熊本はリバウンドボールから鮮やかな速攻を決め、以降リズムに乗って8—4の4点リードで前半を終了。
　後半、熊本はGK茂利の好守と二番岡本の適確なシュートに依り次第に点差を開け、またチーム全員がよく走って、このゲームを手中にした。

○決勝

涌谷高 9（5—2 0—3 延長 2—0 2—2）7 熊本女子商高

得	【熊本】		【涌谷】	得
0	茂利	GK	菅原	0
0	荒木	GK	佐藤(星)	0
0	岡本	FP	伊藤	0
0	緒方	FP	相沢	4
6	松岡	FP	酒井	0
1	野田	FP	今野	0
0	桑原	FP	土生木	0
0	田守	FP	末永	4
0	鉄島	FP	及川	1
0	橋本	FP	佐藤(純)	0
0	河田	FP	田生	0
0	関	FP	斉藤	5
7				9

（審・横井 細井）

〔PT〕【涌】相沢（2）【熊】松岡（2）

　前半の中盤まで一進一退であったが、残り5分でボールをよく回わして攻める涌谷が相沢のPTを含む3得点で5—2とし、前半涌谷3点リードのまま後半に入る。
　後半は、互いに固い守りから追加点をあげることができなかったが、熊本の四番松岡がわずかな涌谷ディフェンスの乱れから3連続得点し同点にもちこみ、試合は延長戦へと持ち越される。
　延長戦に入り涌谷は熊本のミスによるパスカットで末永、相沢と得点し、ここで波に乗り熊本の反撃を振り切り、第一回高校選抜大会の初優勝を飾った。

春の高校選抜

　ついにハンドボールにも野球バレーボールサッカー等につづいて春の高校選抜大会が開催される運びとなった。
　昨年初秋からの出場高を選抜するに当ってのいろいろな難題を課せられ、今日の大会開催に至るまでの努力を尽くされた関係各位の方々には、ただただ敬意を表する思いです。ただ一つ残念な事には、この大会がTV放映（せめて決勝でも）される機会が無かった点です。——けれどこのことは今のハンドボール界全体の問題でもありますが——
　何はともあれ、この選抜大会が引き金となり、大いにハンドボール界発展の一助になることは素晴しいことです。

続・協会創立・四十周年に思う（懐かしき古き時代）

〝不惑の年を迎えて〟

湧永薬品株式会社
オーナー　湧永　儀助

ハンドボール協会創立四十周年誠におめでとうございます。私にとりましても非常に意義深く、丁度不惑の年四十才を迎え、公式の競技はハンドボール以外何も知らない私には、誠に因縁深いものがございます。

幼い頃、出来の悪かった私を、豊中二中の時代に遠藤(信)先生より「君は身体が小さく」また「長男であるので大学へ行かなければならない。」等のご指導をいただき、優秀選手としてではなく、人生教育のためハンドボールを勧められたのが、ハンドボールへ足を踏み入れる動機でございました。

優秀な同僚に恵まれ、その当時では中学の最高の賞であります近畿大会に優勝でき、また高校に進学しては、馬場太郎先生のご指導のもと、幾多の全国大会に出場できました。特に、高校二年のとき函館で行われた国体で、現全日本監督竹野さんの済々黌高校に敗れたことは、今だに夢にみるゲームでございます。この時のゲームは豊中高校にとって絶対有利と言われ、しかも荒川先生（現理事長）の激励指導を受け、試合前日には市内見学までさせてもらって敗れたという経験は、自分の人生にとっても、現在の湧永薬品のハンドボール部運営にとっても良い勉強になりました。（私が荒川先生にお会いしたのはこの時が初めてでございました。）

その後商用で函館に行く度にこの時の事が思い出され、「人間何事もツメが大切だな…」と心に言いきかせております。

また、その頃全国のハンドボールをリードしていた村田先生指揮下の大阪クラブをチームとしてみたのも初めてです。

大阪クラブチームは、一口に言って学校の先生と関西の大学の現役及びOBを集めた野性味溢れるチームでありました。

私は女三人、男一人の兄妹の中で育ち、どちらかといえば、男の世界というものは父以外からはあまり影響をうけませんでしたが、その大阪クラブの野性味溢れる選手生活の印象、特にその最初の思い出は、今だに忘れることができません。

それ程にこのチームは、私の選手生活また社会生活に大きな衝撃と影響を与えてくれました。

大学に入りますと、当時の関学は非常な猛者揃いで、プレーにおいても私生活においても全く別世界の様でございました。丁度その時湧永家の本業がつぶれ、私にとっては非常に苦しい大学生活でありました。それでも大学三年の時大学王座決定戦で当時何十連勝かの芝浦工大に勝ったことは、当時の関学の苦しい、シゴキに近い練習を吹き飛ばす、大変痛快なことでありました。

特に大学四年の時の私にとっては、家業、ハンドボール、学業とみるみるうちにすぎ去り、選手生活も満足に送ることが出来なかったのは心残りでありました。

その頃ルーマニアチーム（多分そうだと記憶しています）が来日し、本場のハンドボールというものをみせてくれました。

そのときの彼等の体格には実に驚かされました。私が選手生活を断念したのは、私のもっている技術も当然その理由の一つでありますが、ルーマニア選手をみてそのパワーとスピードに圧倒されたのが、大きな理由であります。その後十年間全くハンドボールとは疎遠になり、またハンドボールも十一人制から、七人制へと移って行きました。

昭和四十三年、私の先輩である渡辺一己氏の指導のもと、荒川先生、勝先生、九州の中西先生等のご協力、ご指導により湧永薬品ハンドボールチームを結成致しました。その後のことは皆さんよくご存知の通りであります。

その間いろいろなことがありました。が、選手達の忍耐と努力により、そのチームも今年で十年目を迎えることになりました。毎年我々は選手及び役員全員の家族を集めて一泊旅行をするのですが、今年の一泊旅行は楽しいものになると期待しております。

私のハンドボール生活において草井、村中、西村の三君を知ったということは大きな喜びであります。

草井由博君は、私と幼稚園、小学校が違うだけであとはハンドボールを共にし、現在は大阪福島クラブの有力なメンバーと聞いています。またハンドボール部の陰で後援者になっております。

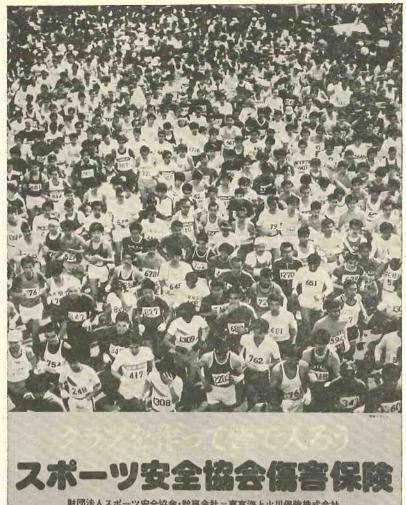
村中君と私とは幼稚園が違うだけで、あとは彼の一年後を私が歩いた様な形になっております。二代目監督としてチームの基礎を作り、現在部長としてチームの指導育成に役立っております。

また西村君は高校時代が同じでハンドボールの裏方として協力してもらっています。

以上三君は私の人生において、かけがえのない友人でもあります。ハンドボールを通しての私の人生の前半は、思い出としては楽しいことが多かった。特に昨年ヨーロッパ遠征が出来たことは、ハンドボール生活のクライマックスでありました。

三君と会えば、必ずハンドボールの事に話題が集中するのですがタイトルをとった時の話もさることながと、必ずといって出てくる話は、関学での厳しい合宿生活に耐え抜いたことの話であります。競技である以上勝敗も気にならないではなかったが、我々の年代になると勝敗はそれほど問題ではなく、そのシゴキに近い合宿がいつでも思い出され、ハンドボールをしていないものには分らない楽しい話題であります。

自分はバイプレイヤーでした。バイプレイヤーは、スタープレイヤーに迷惑をかけてはいけない。技術面において常に彼等の足をひっぱってはいけないということばかり考えていた。このことは自分の人間形成の上に大いに役立っていると思う。

最後に、以前世界選手権代表チーム、全日本チームでやっておられた皆さん！ハンドボール界に、体育館に出て来て、現役選手達を鼓舞激励して下さることを切望致します。

1978

スポーツ団体だけでなく
子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も
10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料は（お一人につき）——

〈第１種〉スポーツ少年団，こども会，婦人団体，地域スポーツクラブ，こてきバンドなど（年額300円）

〈第２種〉スポーツ競技を目的とした団体など

A：山岳会，スキンダイビングなど（年額4,800円）

B：スキー，ラグビー，サッカーなど（年額2,800円）

C：卓球，テニス，水泳，軟式野球，バレー，陸上，ハンドボール，剣道など（年額1,200円）

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第１種で加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●保険金額は——

死亡・後遺障害：3,000,000円
（後遺障害の場合は３％から100％まで）

非入院中：日額1,000円（支払限度90日間）

入院中：日額1,500円（支払限度180日間）
（非入院中，入院中を合わせても180日限度）

注）特にご希望の場合は保険料，保険金額が上記の半額になるＳ型の加入も可能です。

●適用の範囲は（担保条件）——

○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。

○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。

●保険期間——

毎年４月１日より翌年３月31日まで。ただし，中途加入でも翌年３月31日までです。
（申込は３月１日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは…………

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります)。東京海上火災の営業店にご照会ください。

(財)スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館

電話　467－3111（代）　直通460－6263

ハンドボール土曜の集い（相談室）

普及指導委員長　勝　繁夫

普及指導委員会は、五十一、五十二年の間、毎月第三土曜日十七時から二時間、東京代々木オリンピックセンターで、〝土曜の集いハンドボール相談室〟を開設して来ました。

その間平均六〇～七〇名の参加者を教えました。そして、テストケースとしての二年間は過ぎました。

ここで、この〝土曜の集い〟なるものを振り返ってみたいと思います。

何事においても新しい事業を始めるに際しては、（当然の事とは言え）種々な不安な材料が山積みしておりましたが、何はともあれ実行に踏み切った訳で各委員からの献身的な努力にもより、順調な幕開けとなりました。

当時の新聞、ハンドボール機関紙上で既に皆さんも御周知の事とは存じますが、実はむしろ予想に反した快調過ぎるスタートとなった訳です。と申しますのは、果してどれだけ参加者が集ってくれるだろうか、と言う不安がつきまとっていたわけで果せるかな蓋を開けてみると、百数十人の愛好者で二つの体育館がぎっしり満杯の盛況で、逆に我々関係者は慌て、驚き、そして忙しく嬉しい悲鳴をあげたものでした。

参加者は、中学・高校・大学生は勿論の事、社会人そして個人でまたチーム単位で、中には小・中学校の先生、サラリーマンが会社帰りにブラリと……、夫婦子供連れ、大学のハンドボール同好会のメンバー等々……実に幅広い階層の人達が一堂に会したわけです。会場では、当校のOB会がこれに合わせて開かれたり、あちらこちらでオリンピック選手を囲んでの談笑が見受けられたり、指導委員と、また仲間同志の語らいの輪が幾つもできたり、即成のチーム同志のゲームでありながら、それが全く感ぜられず非常になごやかな雰囲気の一時であったわけです。

しかし、回を重ねて行くに従ってこの集いも除々に参加者が減って行き、そして参加するメンバーが固定して行ったことは事実ですと言うことは広い階層の多彩な要求、寄せる機待を満すことができなかったということもあるでしょうか。集いそのものの主旨が、徹底しなかったと言うことではなかっただろうか、と考えられます。

もう一つの点として、当初は毎月第三土曜日の五時～七時ということであった訳ですが、後半には代々木オリンピックセンターの会場の都合で曜日が変更せざるを得なく、一年間通して期日が固定出来なかったことが、最大のネックになったと考えられる訳です。

またこれだけではなくその他にいろいろな反省の材料が残こりました。でも現実は現実として反省し、次の飛躍への糧として、決ってこの土曜の集いは失敗だったとは毛頭考えておりません。初期の目的は充分に果し得たと信じています。

〝土曜の集い〟はこれからのものです。

一、二年やってどうのこうのと言えるものではなく、長い目で見て根気よく育てて行くべきものと考えております。成功、不成功の判断は今日にかかっているものと思っています。あとは全国各県各市町でもって、この集いなるものが波及して行く事を望んでいます勿論東京でモデルケースとして行った方法をそのまま地方にと、考えているわけではありません。その県、その町に合ったより良い方法があるはずです。皆様の手で何んとか育てて行ってもらはなくてはなりません。

ところでこの〝土曜の集い〟なるものの、根底に流れる精神を普及指導委員会として大きな意義をもつ基本姿勢ともいうべきものであると考えています。キザな表現になりますが、この基本姿勢の上に立って、指導者養成、新しいハンドボール愛好者の拡充を目指してのすべての具体的な事業がなされていかなくてはならないものと考えております。ややもすると選手養成そしてオリンピック至上の声の高まるなかで、オリンピックに日の丸をあげることが協会の使命のすべてでないとするならば移り変る社会的背景のなかにあって積極的に取り組んで社会という土壌にしっかり根ざした大樹にハンドボールを育てていかなくてはならないと思います。

この土曜の集いは、ですからチームまたは個人の相談の窓口として即ちハンドボールに関する技術作戦、チーム作り、審判、記録等何でも相談にのってあげよう、ハンドボールよろず相談の窓口としての機能を務めていこうということ。

また特に昔ハンドボールの経験があったが、所属するチームがない、又、やりたくてもする場所がない、指導者がない、仲間がいないということで自分の意志とは無関係にハンドボールから離れていった人達が在野に多数いるわけです。これらハンドボールから遠ざかっている人達をもう一度グランドに呼び戻そう、若き日、学校時代を取り戻してボールを追っかけていただこう、そして家族も、隣近所の人達も会社の同僚、後輩も引き連れて一緒に汗を流していただこう、それこそ自由に出掛けてきて、走り、跳び、投げ競い合い、語り合い、ひとときを愉しんでいただこうと願うものです。県協会直営の広く一般社会へ開かれたサービス事業として、いうなれば、ハンドボール愛好者の集うサロンとして育てていきたいと願うものです。この集いのエネルギーが明日の日本のハンドボールを育てていくことでしょう。

近い将来全国各地で一せいにハンドボール愛好者の集いがもたれることを夢見ています。そこで老若男女がボールを追っている姿が浮んできます。サロンでの語らいが聞えてくる様です多分その頃にはオリンピックに日の丸があがることでしょう。そう信じています。

技術コーナー

——日本協会技術委員　土井秀和——

第四回　シュートフェイントにおける問題点

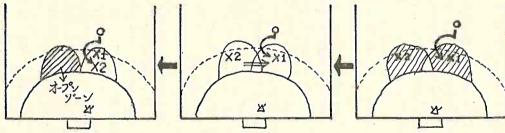
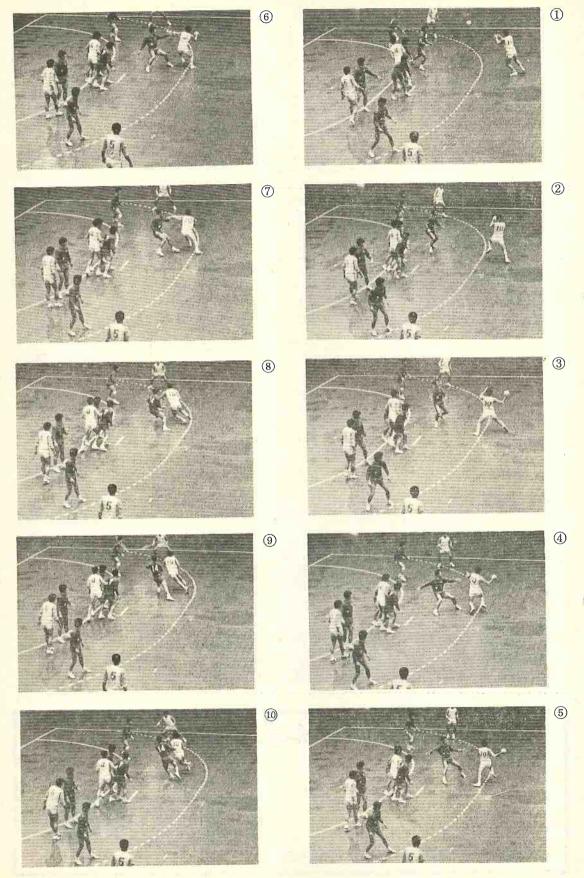
○質問

シュートフェイントを行なう際に大切なことを教えて下さい。

（神奈川Ｆ生）

◎解答

普通、シュートフェイントはジャンプシュートからと、ステップシュートから行なう場合が考えられます。ここで述べるのはステップシュートからシュートフェイントを行う場合です。シュートフェイントを成功させる為には、（少しでもディフェンスに、あ！フェイントを行うぞ!!と思わせないで）あたかもシューターが、シュートを行うぞ、とディフェンスに思わせることが、まず必要です。その為には、普段、ステップシュートを行うのと同じように、フローターは自然なボール展開のなかで、ステップをふみ、（ステップの踏み方は、フロントクロスステップ、バッククロスステップ、ホップステップがあります。）身体は、ゴール方向に向って、半身の態勢（身体の正面がゴール方向に向いていない。）で、しっかりとバックスイングを行い、次にフォワードスイングに入ろうとする時に、自分の抜きたい方向に、ワンドリブルを使いながら、ディフェンスを抜くわけです。

ディフェンスとの関係で、もう少し詳しく述べますと、シュートフェイントを行う為にはまずステップシュートを行う為の十分な間合いと、それと同時にディフェンスに対して少しずれていることが必要です。オフェンスがディフェンスに対してずれて、尚かつシュートを行えるだけの十分な間合いをとることによって、ディフェンスに、シュートを行わせるとまずいぞ、と思わせ、ディフェンスがあわててシュートを阻止しようとする時に、フェイントを行うチャンスが生まれるわけです。

ディフェンスをフェイントで抜く場合は、できるだけ、マークしていたディフェンスの防御ゾーンの範囲で抜くことが大切です。それは、あるディフェンスをフェイントなどで抜けば、必ずもう一人のディフェンスが、フォローに来ることが考えられます。初めのディフェンスの防御ゾーンの範囲で抜くことによって、もう一人のディフェンスがフォローに来ても、フォローに来たディフェンスの本来のディフェンスゾーンが、オープンゾーン（ノーマークゾーン）になり、そのオープンゾーンに、味方がポジションをとれば、そこにノーマークができるわけです。

前ページの、連続写真は、湧永薬品と大同特殊鋼との試合での一場面です。

攻撃は、ある局面で瞬間的にアウトナンバー（数的優位）になるように攻めるのが原則です。攻撃している大同特殊鋼のフローターはサイドプレーヤーからボールをもらった瞬間、ポストプレーヤーをマークしているディフェンスを攻めているのがよくわかります。

ポストプレーヤーをマークしているディフェンスは、この瞬間、フローターのシュートに対して、間合いを詰めて阻止することができず、あわてて、その隣りのディフェンスが、フローターのシュートを阻止しようと間合いを詰めに来ています。フローターは、あたかもステップシュートを行うように見えます。ここが先に述べた大切なことです。ディフェンスは、完全に意表をつかれて右足に体重をかけ、シュートをカットしようとしています。

実際には、フローターは、シュートを行わないで、右方向に抜いているわけですが、もし、この後サイドプレーヤーをマークしているディフェンスがフォローに来れば、サイドプレーヤーがノーマークになるわけです。

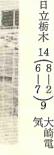
○日立栃木「体育館」落成！

日立で体育館竣工記念ハンドボール試合行なわれる

去る4月17日(月)、日立体育館（健康保険組合）が竣工し記念式典が行なわれた。

新設された体育館は、従業員の文化体育活動やまた従業員家族の体力づくり、健康増進のために建設されたもので、当日の記念式典は、地元の中学生2チームそして大崎電気女子チームを招き、中学生では引き分け、

大平中 8 (4－4 / 4－4) 8 吹上中

日立栃木 14 (8－2 / 6－7) 9 大崎電気

また実業団チーム同志では日本リーグさながらの好ゲームが展開された。

競技施設の概要

総工費　二億二千六百五十万円

鉄骨、鉄筋コンクリート造

2階建　二六二三・三九㎡

フロアの大きさ　45m×28m

バスケット　2面　卓球場

バレーボール　2面　トレーニング室

バドミントン　6面

ランニングトラック（2階）

ハンドボール　1面　会議室

シャワー室

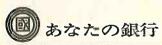
◇　◇　◇　◇　◇　◇　◇

【写真説明】

（上段）日立―大崎の記念試合の一コマ

（左）素晴しい設備を誇る体育館全景……他の公共施設顔負けの周囲の緑と美しい調和を保つ勇壮な近代建築である。

フリースロー

〈編集委員会論壇〉

監督にもっと声援を！

『あなたがやってみたい職業は』というアンケートに対してさる有名人は『プロ野球監督、オーケストラの指揮者、連合艦隊司令長官』と答えたという。なるほどと、ひざをたたく人が多そうな、なかなかの名答弁である。

三つあげられた内の後の二つはさておいて、プロ野球監督がなぜ魅力的な職業に映るかについて少し考えてみたい。

広いグラウンドの上で、何人もの名選手をサインひとつで手足のごとく動かし、あるときはヒットエンドラン、あるときはスクイズと戦術をつくし、相手チームに快勝する、こんな爽快さは思うだけでも素晴らしい。

だが、監督という仕事がわれわれをとらえて離さない要素はこの他いくつもあげられようがどうしても欠かせない点がひとつある。

それは、監督が誰にでもやれそうに見えることだ。王選手のように外野席までボールを運ばなくても、また鈴木投手のように眼にも止らぬ快速球を投げられなくても、作戦を立て、用兵することは少しマニアがかったファンなら誰でもできようし、ブロックサインを覚えること自体難しくないだろう。おれにでも出来そうだということが、やってみたいという願望に次第に変ってゆく。

茶の間に座ってTV観戦しているときでも同様だ。ゲームにひきこまれ、ひいきのチームの監督に感情移入し、作戦、用兵を考える

TV局も心得たもので、ピンチに立った監督の苦悩に満ちた顔つきをアップで映し出す。

このようにして、元来受動的なTV観戦が、主体的なものとして視聴者の心をあふることになるのである。その代り、結果的に作戦が裏目に出た時のファンの怒りは監督に集中し、シーズン中の交代などは日常茶飯事となるに至るのであるが——。

ところで一方、ハンドボール界へ眼を向けてみるとどうだろうかまったく選手の個人技術に偏り過ぎて、監督さん不在という感じがするが、ひが目でありましょうか

スカイプレー結構、むささびシュートも結構、確かに常人ばなれし、一般の人たちはサーカスでも見るようにただただ感歎するのみであります。しかし、大人は子供のようにサーカスは喜びはしない

それは、われわれの世界とは全く別の世界に属する事がらなのであるから。少し気どって言うならばそれは技術に属することであって内面のドラマとして迫らないからなのである。そこに共感がこれっぽっちも存在しないからなのである。

こんなことを言うと叱られそうだが、技術もよいが、普通の人たちがもっと共感しやすい監督さんたちにもっとスポットをあててやってくれませんか。また試合経過の報道にも作戦面よりの掘り下げをしてくれませんか。

スポーツはショーではありませんと反論されそうだが、高校球界にはそんなことは要求しようとは思わないが、日本リーグクラスのゲームになら、監督は一際目立つところに陣取って試合最中に作戦を伝える派手なブロックサインも許されるでしょう。

監督はトレーナーではなく、最も偉大な八人目のプレーヤーであって欲しい。『大同、中浜シフトで快勝』なんていう見出しもあって欲しい。その代り敗れれば責任を一身に負って孤独なポーズを取るなんて、全く泣けるではありませんか。

ハンドボールが幅広く観衆を集める上には、こういうメンタルな面がなければならないのではないでしょうか。少くとも大人の鑑賞に耐え得るようなスポーツにまで成長するためには。

（阪土　圭男）

ムード盛りあげの企画を

私が国際試合を見たのはいつだったでしょうか。

今もはっきりと覚えているのが一九七四年、来日した東ドイツナショナルチームです。

あの時は東京体育館が沸き、ほんとうの意味でハンドボールの醍醐味を知った時期でした。

あれからずいぶん経ちますが、いっこうに国際試合の数は増えません。

その間、モントリオールオリンピックがあり、念願であった男女出場を成し遂げ、いよいよハンドボールも盛り上がるかと思われましたがその反対でした。

ハンドボール愛好家はもちろんのこと、一般の人は一流プレイヤーの試合を望んでいます。

ここ二、三年全くといっていいほど、日本で国際試合は行なわれていません。

外国チーム（特に一流チーム）を呼ぶことは、いろいろ難しい問題があることは百も承知です。

でも今の状態が続いては、ハンドボールの影はうすれるばかりだと思います。

先日デンマークで行なわれた世界選手権でも、日本は善戦しながら結局最後は押し切られてしまうのでした。

その原因の一つに、国際試合のキャリア不足が大きく浮かんでくるのです。

オリンピック、世界選手権などに出場するたびに必ずいわれながら、いっこうに解決の糸口がみつかっていないようです。

暖かくなり、いよいよハンドボールシーズンの開幕、日本リーグも第3回を迎え軌道にのりつつあるようですが、今年も国際試合はあまり期待できないようです。

着実に人気はでてきていると思いますし、根強いファンは多いのですが、まだまだ一般の人たちの関心をまでは誘う至っていません。

「サッカーのペレ」はあまりにも有名ですが、ハンドボールファンから外国の一流プレイヤーの名前がでるのはいつのことでしょうか。

（青木　敬子）

インターハイ・ハンドボール選手の体力

——過去10年間の体力測定から競技適性をさぐる——

全国高等学校体育連盟ハンドボール部

全国高体連ハンドボール部ではこれまで十カ年間にわたって、インターハイに出場した男女選手について体力測定を実施してきた。

それらの資料をもとに逐年的に体力の特徴、一般高校生や日本代表選手らとの体力比較あるいは優秀選手の選考基準などが体力の面からとらえられ報告されてきた。

われわれの資料の集積は今年で十年になる。そこで、これまでの諸問題を振り返って体力測定値から競技適性をさぐってみたいと考えている。

方　法

これまで報告してきた資料の上に、さらに今回はインターハイ出場校がそれぞれ規定された測定方法にもとずいて体力測定を実施した結果が持寄られたものが加えられている。

これによってわれわれの分析対象となった資料は男子百チーム、その人数七百名におよび、女子選手では、百一チーム、七百七名となっている。したがって総合計は二百一チームが対象となり、総人数千四百七名となっている。

結　果

表1および表2は年次別にみた各測定項目（形態・機能）の人数と平均値及び標準扁差が示されている表1は男子のものであり、表2は女子についてのものである。

各年度の上欄に○印及び×印のあるものは、各測定項目とも文部省報告書一般生徒の各年度別全国平均を基準とした平均検定である

測定項目の内容からみると大きく形態と機能に分けられるが、この十年間の追跡研究の間に身長および指先高は大きく遺伝因子に依存することが研究の結果明らかにされてきた。一方体重は筋肉量やその他の身体組成によって後天的に変化するものであることが示唆されている。

図1は男子の形態（身長と体重）について、ローレル指数の年次変化のグラフである。縦軸に指数をとり横軸に年度がとってある。

図 1 男子　ローレル指数

一般生徒の全国平均値は指数約百二十四↓約百二十二を示し痩せ型へと移行する傾向を示すがインターハイ平均値は約百二十五↓約百二十一へとさらにその傾向が強いことを示している。優秀選手平均値も同様に下降変動がみられるこのグラフよりハンドボール選手は逐年的に形態に変化があらわれ細長型体型に変ってきたといえそうである。

同様にして図2は女子形態（身長と体重）としてローレル指数の年次変化を示したものである。

グラフでみると約百三六↓百二九へと低下を示す男子選手と同傾向がみられ、その勾配の差はインターハイ平均値で約七・○（一般生徒の全国平均値で約五・○）を示すのである。全日本代表選手では約百四十以上が望ましいとしている。

図 2 女子　ローレル指数

これは物理的衝突の要素として体重が重要視されているそこで身長の変化をみてみるとあまり変化がみられないことから体重の低下をあらわすものであることがわかる。これはハンドボール競技が身体接触を重視する方向からスピード型に変化したものであるとすれば合理的変化であるといえるであろうが、さてどのように競技に生かされているのであろうか。一般生徒の全国平均値と比較すると明らかに形態に優れていて身長が大きいのにローレル指数で一般生徒の全国平均値より低いことは、競技の内容をさらに分析し、近代化されたハンドボール競技の適性を示すものかどうかよく検討する必要があるといえよう。

一方機能について分析を進めてみると、図3は男子の総合筋力指数グラフである。握力平均と背筋力の合計を総合筋力指数としてとらえてみた。

一般生徒の全国平均値が約百八六kg↓百九五kgで上昇変動傾向がみられ一般生徒の全国平均値との筋力差が開く傾向にあり、かつ指数約十kg上位にある優秀選手平均ではその差はまだ大きく有意差が認められる。

図4は女子の総合筋力指数グラフである。一般生徒の全国平均値は男子と同様下降変動がみられ

表1 インターハイ年度別人数・平均値・標準偏差一覧表(男子)　　000:XXX:P>0.001　　00:XX:P>0.01　　0:X:P>0.05

		身長	体重	胸囲	指先長	手長 cm			手幅 cm			筋力 握力 kg			背筋力	反復上体起	柔軟性 立位	柔軟性 伏上	瞬発力 垂直跳	敏捷性 反復	敏捷性 9m三	持久性 踏台
		cm	kg	cm	cm	右	左	平均	右	左	平均	右	左	平均	kg	体起秒	体前屈	体そらし	om	横跳点	往復走	昇降5分
S43		000	000												000		XXX		000	0		
	N	98	98	—	91	97	97	97	97	97	96	97	97	97		97	97	97	97	97	97	96
	X	170.2	61.7	—	213.0	18.2	18.4	18.4	20.8	21.0	20.9	44.7	40.6	42.3	148.5	21.1	13.4	57.9	61.8	43.5	14.6	98.5
	SD	4.2	4.8	—	3.1	0.7	0.8	0.7	1.2	1.2	1.2	5.7	6.3	5.6	20.8	2.1	6.0	6.1	6.2	3.4	0.5	10.7
S44		000	000	000										000	XXX		XXX	XXX	000			
	N	84	84	84	77	83	83	83	83	83	83	80	81	80	83	83	83	83	83	83	83	82
	X	170.5	61.6	88.6	215.6	18.3	18.3	18.3	20.4	20.4	20.4	48.8	44.7	47.1	133.3	22.2	12.7	55.8	64.8	44.4	13.9	85.8
	SD	5.2	5.3	3.8	7.4	0.8	0.8	0.7	1.0	0.9	0.9	6.5	5.3	5.2	19.8	2.3	4.7	7.9	7.5	4.5	9.3	9.9
S45		000	000	000											000		XXX		000	000		
	N	91	91	91	84	90	90	90	90	90	90	91	90	90	91	89	91	90	91	88	88	87
	X	170.6	61.6	87.9	215.5	18.8	18.8	18.8	21.1	20.9	21.1	48.3	43.6	46.2	156.4	22.1	13.3	58.7	63.8	46.7	13.8	81.7
	SD	5.0	5.4	3.8	7.4	0.9	0.9	0.9	1.1	1.1	1.1	5.5	5.9	5.2	20.8	2.2	5.4	5.8	7.1	4.4	0.6	11.7
S46		000	000	000																		
	N	34	34	34	35	35	35	35	34	35	35	34	34	33	34	35	35	35	35	35	35	34
	X	171.2	63.5	88.4	215.1	18.3	18.3	18.3	21.0	20.9	20.9	49.4	44.8	47.1	149.0	22.2	14.7	60.0	62.1	44.0	13.8	94.9
	SD	5.2	8.0	5.5	7.8	0.8	0.8	0.9	1.1	1.0	1.1	6.6	4.9	5.3	24.5	2.2	4.9	9.1	5.3	3.8	0.6	11.7
S47		000	000	000										000			XXX	X	000	000		
	N	91	91	91	91	91	91	91	89	89	88	89	89	87	91	90	91	91	91	88	89	89
	X	172.2	63.7	89.3	217.6	18.7	18.7	18.7	21.3	21.2	21.3	49.8	46.0	48.4	139.5	22.3	13.5	56.5	63.9	46.2	13.9	87.4
	SD	5.7	6.1	3.9	8.3	1.0	1.0	1.0	1.4	1.4	1.4	5.9	5.7	5.4	19.6	2.9	5.5	7.7	5.4	3.6	0.4	9.3
S48		000	000	000													X		XXX	000		
	N	63	63	63	63	63	63	62	63	63	62	62	63	62	63	56	63	61	56	56	56	56
	X	171.9	63.5	88.4	216.4	18.2	18.0	18.1	20.9	20.9	20.9	47.6	44.2	46.1	139.0	22.3	14.2	60.0	57.2	46.6	14.1	90.1
	SD	5.4	6.6	4.8	7.7	0.9	0.9	0.9	1.1	1.1	1.0	5.4	5.0	4.7	22.0	2.1	4.5	6.8	5.4	3.4	0.4	10.7
S49		000	000	000										000	000		XXX		00			
	N	68	68	68	68	69	69	69	69	69	69	69	69	69	68	68	69	69	68	68	68	68
	X	172.5	62.8	88.8	219.9	18.5	18.7	18.6	21.4	21.2	21.3	52.7	47.9	50.8	166.3	22.9	14.2	58.4	63.4	44.1	13.7	87.1
	SD	5.2	6.5	4.6	7.6	0.8	0.7	0.7	1.0	1.1	1.0	7.7	5.9	6.2	25.0	2.4	5.7	7.6	4.8	3.4	0.6	9.4
S50		000		000										000			XX	XXX	X			
	N	28	28	26	28	28	28	28	28	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27
	X	171.8	61.6	87.7	219.7	18.3	18.4	18.4	21.2	20.9	21.0	51.1	47.2	49.4	144.0	22.4	13.5	53.6	57.9	46.4	13.9	85.5
	SD	7.5	8.1	6.1	10.9	1.0	1.0	1.0	1.3	1.0	1.1	9.4	6.6	7.5	28.5	3.0	5.8	7.9	5.3	4.5	0.5	8.4
S51		000	0	000										000	000		XXX					
	N	40	40	40	50	29	29	29	49	49	49	49	50	49	40	50	50	50	50	50	50	30
	X	171.1	60.6	87.0	217.0	19.1	19.1	19.1	22.1	21.8	22.0	49.1	46.1	47.6	147.8	20.8	13.7	60.1	62.9	47.0	13.7	115.7
	SD	4.9	5.1	4.6	8.0	1.1	1.1	1.1	1.5	1.5	1.5	7.1	6.3	6.5	33.5	1.8	4.9	7.3	5.1	4.4	0.7	18.6
S52																						
	N	103	103	102	100	105	105	105	105	105	105	105	105	105	105	104	104	104	104	104	104	101
	X	171.6	61.2	87.9	215.2	19.7	19.8	19.8	21.0	20.8	20.9	52.1	46.5	49.3	141.3	23.7	15.2	54.7		45.0	13.7	89.2
	SD	5.7	6.3	4.8	8.3	1.0	0.9	0.8	1.1	0.9	0.9	7.0	6.7	6.4	19.2	2.1	5.5	8.9	5.3	3.5	0.5	8.7
S43~S52 計	N	700	700	599	689	690	690	689	707	707	704	704	706	700	699	700	711	708	703	697	698	670
	X	171.3	62.2	88.3	216.5	18.7	18.7	18.7	21.1	21.0	21.0	49.2	44.9	47.2	146.2	22.3	13.8	57.4	62.7	45.3	13.9	90.1
	SD	5.3	6.1	4.4	7.7	1.1	1.0	1.0	1.2	1.2	1.1	6.9	6.3	6.3	24.2	2.5	5.4	7.8	6.3	4.0	0.6	12.9

表2　インターハイ年度別人数・平均値・標準偏差一覧表（女子）　　000：XXX：P>0.001　　00：XX：P>0.01　　0：X：P>0.06

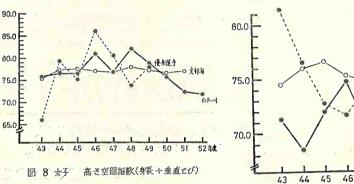
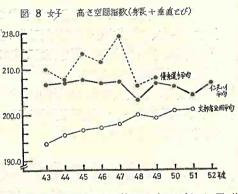
		身長 cm	体重 kg	胸囲 cm	指先長 cm	手長 cm 右	手長 左	手長 平均	手幅 cm 右	手幅 左	手幅 平均	筋力 握力 kg 右	握力 左	握力 平均	背筋力 kg	反復上体起秒	柔軟性 立位体前屈	伏上体そらし	瞬発力 垂直跳 cm	敏捷性 反復横跳点	9m三往復走	持久性 踏台昇降5分
S43		000	000					•							000				000	000		
	N	84	84	—	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	84	83	84	84	84	84
	X	159.2	55.0	—	200.7	17.1	17.1	17.1	18.8	18.8	18.9	28.9	26.0	28.0	103.9	12.9	16.1	59.7	47.8	41.1	15.4	96.5
	SD	4.4	4.9	—	6.7	0.4	0.9	0.7	1.0	1.0	1.0	4.2	4.3	3.9	18.5	1.4	5.7	5.3	5.7	2.4	0.5	14.2
S44		000	000	000										000					000	000		
	N	89	89	89	87	89	89	89	89	89	89	89	89	89	89	87	89	88	88	87	87	88
	X	158.7	54.5	83.0	199.9	16.4	16.8	16.8	18.3	18.4	18.4	34.4	31.3	32.7	89.2	13.8	17.1	59.4	48.5	42.1	15.0	89.4
	SD	4.6	4.9	2.9	7.2	0.9	0.8	0.8	1.1	0.9	1.0	4.4	4.3	3.3	12.7	1.6	4.3	5.6	5.2	2.5	0.5	9.6
S45		000	000	000										000	000				000	000		
	N	98	98	98	87	96	97	96	96	97	96	98	96	96	96	96	97	96	97	96	96	94
	X	158.1	53.6	82.5	198.6	17.6	17.7	17.6	19.1	18.9	19.0	32.3	29.1	30.9	109.8	13.3	16.8	59.7	49.6	42.9	14.9	83.5
	SD	4.5	5.4	3.5	6.8	0.8	0.9	0.8	1.1	1.0	0.9	4.8	4.3	4.1	15.0	2.0	5.2	5.8	5.0	3.5	0.5	9.7
S46		000	000	000										000	000			000	000	000		
	N	63	63	63	63	63	63	63	63	62	62	63	60	60	63	63	63	63	63	63	63	61
	X	159.1	55.5	83.0	199.7	16.8	16.8	16.9	18.6	18.5	18.5	35.2	32.1	33.5	101.9	13.4	17.9	63.1	47.8	42.0	14.8	95.0
	SD	4.7	5.8	3.5	7.4	0.9	1.0	0.9	1.1	1.1	1.1	4.2	3.3	3.8	15.0	1.3	5.3	6.0	5.1	4.2	0.6	14.1
S47		000	000	000										000	00				000	000		
	N	81	82	82	82	82	82	82	81	82	81	82	82	81	82	82	82	82	82	81	82	82
	X	158.6	54.7	83.0	199.4	17.0	17.0	17.0	19.2	19.0	19.1	34.7	31.0	33.3	92.5	13.9	17.1	59.8	48.6	43.6	15.1	89.2
	SD	4.9	5.5	3.7	7.1	0.7	0.8	0.7	1.2	1.2	1.2	4.5	3.9	3.9	17.1	1.7	4.2	5.8	5.6	3.6	0.5	10.3
S48		000	000	0										000	0			000		000		
	N	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	47	47	48	47	47	48	48	45	47	46
	X	159.9	54.4	81.9	200.7	17.1	16.7	16.9	19.2	19.0	19.1	33.8	31.3	32.5	92.9	14.6	18.3	63.8	43.3	43.1	15.5	93.9
	SD	4.3	4.5	3.1	6.5	0.8	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9	4.5	4.7	4.3	21.4	1.5	4.1	6.7	5.1	2.9	0.7	10.8
S49		000	000											000	000				000	000		
	N	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	56	55	56	55	56	56	56	56	52
	X	159.2	54.1	82.2	200.9	17.0	17.2	17.1	19.0	18.9	19.0	35.7	32.3	34.2	109.4	14.7	17.9	61.0	47.7	40.6	15.0	90.8
	SD	4.0	4.4	3.2	6.0	0.7	0.7	0.7	0.9	1.0	0.9	4.6	3.9	3.9	17.5	1.5	5.2	6.3	4.9	2.8	0.6	8.8
S50		000												000	000				000	000		
	N	52	52	52	55	54	54	54	54	54	54	56	54	53	56	56	54	56	56	56	56	54
	X	159.2	53.3	81.8	201.6	16.5	16.8	16.8	19.1	18.9	19.0	35.8	32.9	34.7	95.4	14.2	17.4	58.3	47.0	43.0	15.1	89.3
	SD	4.2	5.5	3.7	6.4	2.4	0.8	0.8	0.9	1.0	0.9	4.0	4.2	3.9	15.8	1.5	3.8	4.5	4.2	3.6	0.6	8.8
S51		000												0	000					000		
	N	40	40	40	30	30	30	30	40	40	40	40	40	40	40	39	39	39	39	20	29	20
	X	159.7	52.5	81.9	200.8	17.8	17.8	17.8	19.5	19.4	19.5	31.7	29.9	30.7	99.2	12.6	16.1	56.3	44.5	43.5	16.1	115.4
	SD	4.4	5.2	3.3	6.7	1.2	1.1	1.1	0.9	1.0	0.9	3.6	4.1	3.7	12.6	2.1	4.0	7.3	5.1	2.4	0.8	8.7
S52		000																				
	N	90	90	86	91	91	91	91	91	90	90	90	89	89	91	84	91	91	90	83	83	80
	X	158.9	51.9	81.6	198.7	18.0	18.1	18.1	18.4	18.3	18.4	32.5	30.4	31.5	95.2	14.8	17.0	54.8	47.9	41.4	14.9	95.2
	SD	4.1	3.8	2.8	5.8	0.9	0.9	0.8	1.1	1.0	0.9	4.6	4.1	4.1	13.8	1.7	5.6	7.2	4.1	2.6	0.5	9.6
S43～S52 計		000	000	000										000	000		XX		000	000		
	N	702	703	615	684	694	695	694	703	703	701	706	697	695	704	694	701	702	703	671	683	661
	X	158.9	54.0	82.4	199.9	17.1	17.2	17.2	18.9	18.8	18.8	33.3	30.4	31.6	99.0	13.8	17.1	59.4	47.7	42.2	15.1	91.9
	SD	4.6	5.2	3.4	6.8	1.2	1.1	1.0	1.1	1.1	1.0	4.9	4.6	4.4	17.5	1.8	4.9	6.5	5.3	3.3	0.5	12.3

その勾配差は指数六kg約である。インターハイ平均値も男子と同じ上昇変動傾向がみられ、その差は指数約二・〇kg勾配である。一般生徒の全国平均値とインターハイ平均値の指数差は約十↓十五kgと

図3 男子 筋力指数

図4 女子 筋力指数

開く傾向にあり、優秀選手平均値はより大きい差で上昇変動がみられ、体力の中の筋力要素が優れていることは選手として抜擢されるときの競技適性といえるだろう。

ローレル指数との関係からさらに分析してみると身長が変らずに体重が低下したにもかかわらず筋力の向上は高等学校における選手らの筋力面のトレーニング法が普及してきたことを示すのか、あるいは、この筋力水準を獲得しなければ、インターハイに出場できないかなど多くの要素を含むであろうが、少くとも遺伝因子に影響される身長の大きい人々を発掘し体重をそれに見合って増加させ、さらにすぐれた筋力を持合させることが目標となるものであろうと思われる。

次に柔軟性についてまとめたものが図5と図6である。立位体前屈と伏臥上体そらしを加えた柔軟指数であらわしてある。図5は男子について示してある。

一般生徒の全国平均値は指数約七四・五↓七七・〇cmの約二・五cm幅で平均約七六cmで年間変動なしに比べインターハイ平均値では約六七・〇↓七四・五cmの約七・五cm幅内で約一四cm勾配で柔軟性

図5 男子 柔軟指数

図6 女子 柔軟指数

が低下している。優秀選手平均値でも下降急勾配で最下位に変動している。立位体前屈・伏臥上体そらし共に一般生徒の全国平均値より下位にある。インターハイ出場の選手ばかりでなく他の年令層のハンドボール選手も柔軟性のないことが指摘されている。このことは競技適性として柔軟性が重要視されないことを示すものであり、むしろボールを拾うときに〝腰を落して〟といわれる技術指導と関連づけて考えることが大切であろう。

図8 女子 高さ空間指数(身長＋垂直とび)

図7 男子 高さ空間指数(身長＋垂直とび)

女子について考案したのが次の図6である。

一般生徒の全国平均値は年間変動がみられず平均約七七cmである。一方インターハイ平均値は前半年度が上昇傾向・後半年度が下降傾向にある。優秀選手平均値も同様なグラフがみられる。このことから柔軟性については一般生徒の全国平均値とインターハイ平均値・優秀選手平均値では変化はみられない。このことは、男子についてすでに述べたが性差を超えて論じられてよいということをあらわすものと考えられる。

私達はハンドボール競技に必要な攻撃空間の高さや守りの壁（守りの空間）というような形態と機

能を合せた特殊項目を探ってみようとした。

図7は身長と垂直とびの高さ空間指数である。

インターハイ平均値では約二百三四平均で年次変動なく、優秀選手平均値では約二百三六でありそれほどわからない。一方一般生徒の全国平均値は徐々に上昇してその差は年々縮まりつつある。インターハイ平均値と約4cm、優秀選手平均値と約6cmの差がみられる。

女子について示したものが図8である。男子と同様に一般生徒の全国平均値では約五cm上昇勾配で変動しており、インターハイ平均値は約二百六cmで年間変動なく優秀選手平均値も約二百十cm平均くらいで変動は認められない。

しかし、一般生徒の全国平均値との年次比較の差は縮まりつつあるが、インターハイ平均値で約2cm幡で有意にあり優秀選手平均値では約五cm幅で有意にある。

このことは有意な差があるからといって安心はしておれないように思われる。

第一回の8年前にすでに報告したようにハンドボール選手の大型化を求めていく場合に指導者は身長が遺伝因子に依存するということを知りながら長身選手の発掘を手引かえているか、あるいは、遺伝因子を決して前面に出さずに教育的体育の中でハンドボール競技を実施しているいずれかであろうことが考えられよう。

次のグラフは身長と反復横とびを掛けた横空間指数であり、男子を示したものが図9である。

図 9 男子　横空間指数（身長×反復横とび）

このグラフより一般生徒の全国平均値とインターハイ平均値と優秀選手平均値は同じ幅で上昇年次変動の勾配を示している。

その比較の差は一般生徒の全国平均値とインターハイ平均値で約三五二・五差、一般生徒の全国平均値と優秀選手で約六一三・四差でその要素は身長差でしかない。反復横とびは一般生徒と変りがなくなっていることを指摘しなければならない。

女子についての図10で横空間指数をみますと男子とまったく同様傾向が認められ、一般生徒の全国平均値約五千八〇〇→六千三百へ約五百幅で上昇勾配であり、インターハイ平均値は六千五〇〇→六千九〇〇へ約四百幅で上昇勾配がみられ、一般生徒の全国平均値との有意差約七百幅であり、優秀選手平均値では、昭和四四年～四七年の四年間により高い約七千二百平均を示したが、それ以後は体力的に特徴のある優秀選手が選出されていない。ということは、インターハイ選手の平均値と優秀選手の平均値の差がなくなってしまっていることを指摘しなければならない。

図 10 女子　横空間指数（身長×反復横とび）

ハンドボール競技は、身体接触の代表的なスポーツであるために体重と垂直とび高の相乗積を調べてみた。

垂直とびは自分の体重を持上げるのであるから自分の体重を動かすパワーである。しかし、自分以外の物体を動かすには体重の要素を考慮しなければならない。したがってわれわれはそれらの相乗積を跳ね飛ばし指数として考えてみた。

図11が男子の跳ね飛ばし指数グラフである。一般生徒の全国平均値では、約三千二百→約三千六百へと約四百の緩やかな上昇勾配で伸びているのに、インターハイ平均値では、ほとんど変わらないようだが、昭和48年以後にゆるやかに下降している傾向にあり、優秀選手平均値でもインターハイ平均値と同様の傾向が感じられる。

図 11 男子　跳ね飛ばし指数（体重×垂直とび）

図 12 女子　跳ね飛ばし指数（体重×垂直とび）

図12は女子の跳ね飛ばし指数グラフである。この図から男子と同様傾向がみられ、一般生徒の全国平均値では、約二千→約二千三百へと緩やかに上昇しているが、優秀選手平均値やインターハイ平均値では下降傾向がみられ、インターハイ平均値では、昭和48年以後に約二千七〇〇→約二千四百へと約三百も下降勾配がみられ、昭和51年度では、一般生徒の平均値と変らなくなっている。このことは体重で同じ差で開いていながら一般生徒と変りなくなっている。いいかえればハンドボール指導を担当している指導者が競技技術テクニック指導に追われ反復横とび同様に垂直とびのトレーニング法を考慮していないからではないかと

思われる。

まとめ

これらの分析結果を総合的に要約すると

一、形態では、身長は10年間の年次変動なく、遺伝因子に依存した、大きい人達が集められたという有意差であろう。体重では年次低下変動がみられることは筋肉量や身体組成によって後天的に変化するものであり、ハンドボール競技が身体接触を重要視する方向からスピード型に合理的変化した近代的競技適性を示すものであろう。このことは競技内容をさらに分析する必要がある。

二、筋力指数では、一般生徒の全国平均値とハンドボール選手では、年々差が開く傾向にある。筋力の向上は、各学校における選手達の筋力面のトレーニング法が普及してきたことを示すのか、この筋力水準を獲得しなければ、インターハイに出場出来ないのか、興味あるところである。これについてもさらに分析をする必要がある。

三、柔軟性では、インターハイ出場選手以外の年令層のハンドボール選手も柔軟性のないことが指摘されている。このことは競技適性として柔軟性が重要視されないことを示すものである。技術指導に〝腰を落して〟という基本姿勢と関連づけて考えることが大切であろう。

四、特殊項目での高さ空間指数では、一般生徒の全国平均値より有意差があるからといって安心はしておれない。というのは、大型化を求めていく場合に指導者が長身選手の発掘を手引かえているのか、あるいは、教育的体育の中でハンドボール競技を実施しているかのいずれかであると考えられる。

五、横空間指数では、遺伝因子による身長の影響が大きい、それと機能である垂直とびでは、一般生徒の全国平均値と同じ数値になってしまっている。このことは跳ね飛ばし指数におけるグラフの低下に影響があらわれている。その要素となる体重と垂直とびの両者が停滞もしくは、低下を示すことに原因がある。一般生徒の全国平均値が緩やかに上昇しているのにハンドボール選手に停滞や下降傾向がみられることは、ハンドボール競技指導者が競技技術テクニック指導におわれ競技基礎体力のトレーニング法を考慮していないかあるいは、特定のジャンプシューターだけのジャンプ力の養成でチーム全員に瞬発力トレーニングを考慮していない結果かもしれない。

【発表者】
大阪府立寝屋川高等定校
北　岡　大　覚

この発表にあたりまして日本体育大学の石井喜八教授の御指導と近畿ハンドボール研究会――
馬場　太郎（プール短期大学）
中出　盛雄（大阪薬科大学）
高山　政悟（大阪府立大学）
山崎　　武（大阪体育大学）
相浦　義郎（広島修道大学）
河南　政信（大阪市立都島工業高校）
望月伸三郎（大阪府立牧野高校）
津熊美智子（大阪府立門真高校）
井上　信夫（大阪府教育委員会）
井上　裕人（大阪府立長野高校）
――の方々よりご協力をいただきましたことを、深く感謝申し上げます。

委員長に江平君選任

全日本学連総会

全日本学生連盟は4月9日東京で役員総会を開き、53年度人事を次のように決めた。

▽会長　内海倫▽副会長　藤松博▽顧問　山崎剛▽理事長　中沢重夫（会長推）▽理事　奈良久（北海道）、斉藤節郎（東北）、福地賢介（関東）、若山博（北信越）、岩見恒典（東海）、前田吉弘（関西）、藤田信義（中四国）、佐伯紘一（九州）田中秀夫、滝口三郎、久保義雄、久田暁、藤原侑、大西武三、岡田修（以上会長推）

▽委員長　江平弘（関東・日体）

▽副委員長　吉田一彦（関西・大阪体大）▽委員　尾尻弥久（北大）沼倉毅（東北学院）、山内英昌（名城）、辻伸治（慶応）、長田清美（東女体大、会計担当）、藤本昌美（日体）、川島雅利（山口大）、中村純二（福岡教大）

（注）北信越学連選出の委員は未定。

各地学生春季リーグ日程

○北海道学生

期日　4月28日（金）――30日（日）

会場　室蘭市立体育館

出場校

（男子1部）北海道大・北見工大・北海道教育大釧路分校・北海道学園大・北星学園大――以上5校（男子乙部）

北海道教育大旭川分校・北海道工大・小樽商大・室蘭工大北海道教育大函館分校・旭川東海大　　――以上6校

（女子）

北海道教育大釧路分校・北海道教育大旭川分校―以上2校

○東北学生

期日　6月7日（木）――9日（土）

会場　宮城県スポーツセンター

出場校……略

○関東学生

期日　男子1、2部及び女子1部　4月22日（土）――5月23日（火）10日間・男子3～6部及び女子2部　4月22日（土）――5月23日（火）8日間

会場　駒沢体育館及び室内球技場、第一球技場（男子3～6部）

参加校……略

○西日本学生

期日　7月24日（日）――28日（木）

会場　名古屋市体育館

出場校……略

○東海学生

期日　4月29日（土）――5月14日（日）7日間

会場　愛知県体育館（4月29日―30日）。愛知教大体育館（5月3日）、名学大体育館（5月5日）、名城大体育館（5月7日）、中京大グランド（5月13日）中京大体育館（5月14日）

出場校……略

○愛知学生

期日　12月14日（木）――19日（火）……学生選手権大会

会場　名古屋市体育館

出場校……略

○中四国学生

期日　男子1、2部（5月27日（土）、28日（日））、男子3部、女子（5月20日（土）、21日（日））

会場　福山市体育館（27、28日）、徳島大学及び徳島市立体育館（20、21日）

出場校……略

○福岡学生

期日　4月29日（土）、5月3日（水）

会場　福岡教育大学グランド

出場校……略

◎東西学生対抗戦

9月15日（金）　愛知県体育館

8月に教職員連主催の「研修会」

全日本教職員連盟では、今年度の「ハンドボール研修会」を8月8日午後2時から、宮崎市民会館で開くことになり、発表者を募集している。

今回から、発表者によって〈紀要〉を作成、一度だけの発表に終わらず、今後の資料として残すことが計画されている。

○…申しこみ要領…○

▽発表有資格者　特に問わず。

▽発表申しこみ　53年5月31日までに、埼玉県戸田市新曽一、〇九三埼玉県立戸田高校内、全日本教職員ハンドボール連盟（郵便番号三三五）あて。発表テーマ（題目）をそえることが原則だが、未定の場合は、発表する由だけをハガキに書くだけでもよい。

▽発表期日　53年8月8日午後2時、宮崎市民会館会議室（宮崎市役所となり）

▽紀要用原稿の作成について、発表者には、連盟から紀要用の原稿用紙を送りますので、原稿作成要領（後日、詳細決定しだい送付）にもとづいて作成し53年6月15日までに送付する。

以上全日本教職員連盟より

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

音のコンビネーションプレー

2ウェイ・4スピーカー(12cmウーハー×2＋5cmツイーター×2)からあふれ出す、出力3.8W(EIAJ/DC)のステレオサウンドは、高音と中・低音のコンビネーションサウンド。

音が広がるステレオサウンド
ステレオ パディスコ5280 ¥44,800
TRK-5280

いい音はステレオで鳴らしたい

ステレオサウンドを支えるメカニズム

- ●より音の広がりを感じるステレオ(マトリックス)方式
- ●クリアな音を再生するITL・OTL回路
- ●FM放送が冴えるFMマルチ回路内蔵
- ●ラウドネス回路で音のバランスを自動補正
- ●FMワイドバンド(76〜108MHz)帯採用
- ●(クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- ●専用外部スピーカー(別売りAPS-80 2本セット¥11,800)接続可能
- ●FM/AM2バンドラジオつき
- ●大きさ幅42.2×高さ23.3×奥行11.7(cm)
- ●重さ4.7kg(乾電池含む)
- ●キャリングケース(別売りL-5280¥4,000)

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

★「日立カセットレコーダーの保証書」は、必ずお受けとりください。お買い上げの際に販売店名、ご購入の年月日が記入されているかをお確かめになり、大切に保存してください。

★カタログ請求は、〒105東京都港区西新橋2-35-6 第3松井ビル 日立家電販売株式会社宣伝部パディスコ係へ。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL.(03)502-2111

日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL.(03)503-2111

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六三号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
[illegible]和五三年四月二十五日印刷
昭和五三年五月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
東[illegible]谷区神南一－一－一
電話　代表（467）七〇九七
振替　東京五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
定価三百五十円
（年間購読料三千三百円）